

## ○研究報告書等

(平成 16 年度)

### ●[ナノマテリアルの安全性確認に必要な生体影響試験に関する緊急調査](#)

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 菅野 純)

(平成 17 年度)

### ●[ナノマテリアルの安全性確認における健康影響評価手法の確立に関する研究](#)

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 広瀬 明彦)

(平成 17 年度～平成 19 年度)

### ●[環境ナノ粒子の動脈硬化促進メカニズムの解明](#)

(国立循環器病センター研究所 岩井 直温)

(平成 18 年度～平成 20 年度)

### ●[ナノマテリアルのヒト健康影響の評価手法の開発のための有害性評価および体内動態評価に関する基盤研究](#)

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 広瀬 明彦)

### ●[ナノ微粒子の体内動態可視化法の開発](#)

(北海道大学大学院歯学研究科 亘理 文夫)

(平成 19 年度～平成 21 年度)

### ●[ナノマテリアルの経皮毒性に関するトキシコキネティクスおよびトキシコプロテオミクス等の融合による有害性評価法・リスク予測法の開発](#)

(大阪大学薬学研究科 堤 康央)

### ●[ナノマテリアルの経皮毒性に関する評価手法の開発に関する研究](#)

(公立大学法人名古屋市立大学 津田 洋幸)

(平成 20 年度～平成 22 年度)

### ●[ナノマテリアルのヒト健康影響の評価手法に関する総合研究](#)

(中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター 福島 昭治)

●[ナノマテリアルの遺伝毒性及び発がん性に関する研究](#)

(国立がんセンター研究所 戸塚 ゆ加里)

●[ナノマテリアルの健康影響の評価手法に関する総合研究](#)

(東京理科大学 薬学部 武田 健)

(平成 21 年度～平成 23 年度)

●[ナノマテリアルの健康影響評価手法の総合的開発および体内動態を含む基礎的有害性情報の集積に関する研究](#)

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 広瀬 明彦)

(平成 22 年度～平成 24 年度)

●[カーボンナノマテリアルによる肺障害と発がん作用の中期評価法とその作用の分子機序解析法の開発に関する研究](#)

(公立大学法人名古屋市立大学 津田 洋幸)

●[ナノマテリアルの経皮・吸入曝露実態の解析基盤および経皮・吸入毒性評価基盤の確立とヒト健康影響情報の集積に関する研究](#)

(大阪大学大学院薬学研究科 堤 康央)

●[中枢神経系の発達に及ぼす化学物質の影響に関する試験法の開発に関する研究](#)

(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター 藤岡 宏樹)

(平成 23 年度～平成 25 年度)

●[ナノマテリアルの in vitro 評価系構築に向けた基礎研究](#)

(国立医薬品食品衛生研究所医療機器部 宮島 敦子)

●[ナノマテリアルのヒト健康影響の評価手法に関する研究－全身暴露吸入による肺を主標的とした毒性評価研究－](#)

(国立大学法人香川大学医学部 今井田 克己)

(平成 24 年度～平成 26 年度)

●[ナノマテリアル曝露による生体毒性の慢性移行及び遅発性に関わる評価手法の開発研究](#)

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 広瀬 明彦)

●ヒトへの外挿を目指したナノマテリアルの健康影響評価手法の開発

(東京理科大学総合研究機構 武田 健)

●新規の安全性評価試験法を国際的なガイドラインにするための手法に関する研究

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 西川 秋佳)

●毒性評価を目的としたナノマテリアル分類システムの構築

(昭和薬科大学 薬学部 小泉 直也)

(平成 25 年度～平成 26 年度)

●細胞毒性に虚弱である中枢神経系を対象とした、ナノマテリアルが持つ有害作用の評価手法開発

(国立医薬品食品衛生研究所薬理部 入江 智彦)

(平成 25 年度～平成 27 年度)

●カーボンおよび金属ナノマテリアルによる肺および全身臓器障害と発がん作用の機序解析とそれに基づく中期検索法の開発に関する研究

(公立大学法人名古屋市立大学 津田 洋幸)

●脆弱な個体をも対象とした、経皮・吸入曝露後のナノ・サブナノ素材の挙動解析とハザード情報集積 (ナノリスク解析基盤の構築)

(大阪大学大学院薬学研究科 堤 康央)

(平成 26 年度～平成 28 年度)

●ナノマテリアルのヒト健康影響の評価手法に関する総合研究-全身暴露吸入による毒性評価研究-

(国立大学法人香川大学医学部 今井田 克己)

●抗原性物質への免疫応答に対するナノマテリアル経皮曝露の影響に関する評価手法の開発研究

(国立医薬品食品衛生研究所生化学部 安達 玲子)

(平成 27 年度～平成 29 年度)

●[ナノマテリアル曝露による慢性及び遅発毒性評価手法の開発に関する研究](#)

(国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 広瀬 明彦)

●[新規 in vitro 評価系とマーカーの開発によるナノマテリアルのリスク評価及びリスク低減化に関する研究](#)

(横浜国立大学大学院工学研究院 渡邊 昌俊)